

令和元年度第2回座間市環境審議会 会議録

○日 時 令和元年10月25日(金) 午前9時30分～午前11時30分

○場 所 座間市役所3階 3-1会議室

○出席者

委 員 田中会長、小池副会長、藤倉委員、長沼委員、西委員、室星委員、日浅委員、吉井委員

事務局 環境経済部長、環境政策課長、環境政策係長、環境政策係主任、環境政策係主事補

○公開の可否 公開 一部公開 非公開

○傍聴者 なし

○配布資料 次第、資料1 座間市環境美化条例啓発ポスターコンクール実施要領、資料2 座間市環境美化条例啓発ポスターコンクール審査要領、資料3 座間市環境基本計画年次報告書(平成30年度報告案)、資料4 座間市環境基本計画年次報告書(平成30年度報告案)に対する意見書

1 開会

2 挨拶

3 議題

(1) 座間市環境美化条例啓発ポスターコンクール審査について

～事務局から配布資料及び審査方法について説明～

(座間市環境審議会規則第7条第2項の規定により非公開。)

(2) 座間市環境基本計画年次報告書(平成30年度報告案)について

～事務局から配布資料について説明～

・田中会長

意見を伺いたいと思います。まず第1章のところ、不明な点や疑義はございますか。

・藤倉委員

年次報告書を市民に対してどのように伝え、どのくらいの市民が目にしたか、現状をお伺いします。

・事務局

印刷物を何冊か印刷していますが、取りに来られる方はいません。ホームページにも掲示していますが、アクセス数については、調査をしていません。

・田中会長

アクセス数の確認はできますか。

・事務局

市政戦略課で確認が取れるかもしれません。

・事務局

以前の審議会で、報告書を学校に配布したほうが良いのではないかという意見をいただき、市内各小学校11校と中学校6校の図書館に1部ずつ配布しています。また、市議会議員の皆様にも配布しています。

・藤倉委員

学校は、図書室に置いてもらっていますか、環境講演会などで配布、閲覧はされていますか。

・事務局

学校には、図書室に配架をお願いしています。講演会や緑化祭りなどのイベントの際に、閲覧できるように置いておいたほうが良い意見については、今後の参考にさせていただきます。

・田中会長

他はよろしいですか。それでは、第2章の分野別の取組ですが、何かお気づきの点はございますか。

・藤倉委員

ひまわり畑や市民農園の指標は、同じ数が続いていて、維持することが大変とも思いますが、今後増減の要素はあるのかどうか、増減がないならば、今後の見直しの時に指標に置いても仕方ないと思います。質問ですが、現状として遊休農地は、全てひまわり畑になっていますか。今後、増える余地がありますか。

・事務局

農政課に確認してみないと、はっきりしたことはわかりません。

・田中会長

農政課に確認してください。

・小池副会長

ひまわりまつりを運営しているのは、座間市が全面的にやっていることではなく、市民の力を借りながら実施しています。市民の力が少なければ、ひまわり畑は減ります。増加に向けて考えていくのが我々の役目かと思います。

・日浅委員

ひまわりまつりには、市民だけではなく、市外の方もたくさん来ていると思いますが、費用対効果というか、ひまわりまつりによる二次的なメリットについて触れても良いと思います。テレビ等にも取り上げられて知名度も上がってきていることなどひまわりまつりの影響ということは検討されたほうが良いと思います。

・事務局

費用対効果につきましては、主催している商工観光課に確認しますが、環境基本計画の中で記述されていないため、費用対効果に触れることがふさわしいかについては、検討させていただきたいと思います。

・日浅委員

ひまわりまつりによって座間市として知名度が上がるなどを含めて、どれだけプラスがあるのか検証されても良いと思います。

・事務局

費用対効果的なものを商工観光課で取り上げてもらえるか、確認します。

・田中会長

報告書案の中には、ひまわりまつりの記述は、ありますか。

・事務局

ありません。

・田中会長

ひまわり植栽畑が、ひまわりまつりに使われているのですか。

・事務局

使っています。

・田中会長

説明の中に、ひまわりまつりには、遊休農地が使われ、市民の皆さんに楽しんでもらい、自然の価値について、普及、認識するきっかけになっているということも書いたらどうでしょうか。委員の御指摘が多少反映されると思います。

・藤倉委員

おそらく、ひまわりを植えることで、市民も観光客の皆さんも楽しむというのは、景観の向上にも役立つなど他にも良い効果があるということで、今後、環境基本計画を見直す時に、都市景観の向上の施策として入れることを検討課題にしてみたいかがですか。

・田中会長

最初の質問は、過去7～8年、同じ値が継続しているため、要因をもう少し丁寧に、現状から増えもしないが減りもしないということであれば、趣旨のところに「ようやく維持している」、「市民の協力を得ながら取り組んでいる」と書いたらいかがですか。

・小池副会長

遊休農地対策というと、農家が高齢化になって、農業ができなくなったものを市民がボランティアで、農地を有効活用しているものに対して何か市で支援するとか補助するなどの施策はありますか。

・事務局

補助、助成があるのかということについては農政課に確認させていただきます。

・田中会長

市民農地を提供していただいて、一般市民の皆さんに土に触れてもらい、栽培してもらおうというのは良いことです。

棒グラフの色が薄いので、もう少し色を濃くしたほうが良いと思います。

・藤倉委員

グラフは黒枠をしてください。白とカラーだけの識別は、色覚に障害がある人にとってはすごく見にくいので、必ず黒で枠を取ってください。

・田中会長

基本目標の3と4で、何か指摘がございますか。

・吉井委員

河川のBODですが、基準値より高いのが平成25、26、27、28年度ですが、注釈で、「公共下水道の普及率の上昇とともに水質が改善しています」とあり、平成29年度にかなり下がっています。これは公共下水道の普及の影響と考えてよろしいですか。

・事務局

自然的なものと聞いています。公共下水道が普及したから一気に下がったという話ではなく、原因はわかりませんが、物質が多く検出されてしまった結果だと聞いています。

・吉井委員

平成29年度に、値が下がっており、かなり特徴的ですが、原因は何かつかんでいますか。

・事務局

まだつかめていないと聞いています。

・吉井委員

平成30年度に鳩川のBODが上がっています。資料のBODの値を見ますと、上流、中流の年次の傾向が下流域の年次の傾向と一致しているということですが、その原因はつかんでいますか。平成30年度に下流のBODだけが上がっているということであれば、何か特色があつてつかみやすいと思いますが、上流域も中流域もBODが上がっています。何か原因をつかんでいますか。

・事務局

環境政策課環境保全係に確認しておきますが、やはり、こういうものは自然現象というか、川の流れによるところが大きいと伺っておりますので、おそらく、この上昇傾向も理由ははっきりしないのではないかと思います。

・田中会長

今の質問で、上がっているというのはどの値のことですか。

・吉井委員

BODです。下流域の経時変化と上流域、中流域の経時変化が同様の傾向を示しています。上流域と中流域は、平成30年度は基準値内に入っていますが、下流域だけが基準値を超えています。つまり、経時変化のパターンが同じようであっても、下流域が基準値を超えているということもここで見られます。

・田中会長

鳩川のBODを見ますと、指摘の点は、上流域から下流域で値が上がっているのではないかと  
いうことでしょうか。あるいは、経時変化とすると、上流域の平成12年から、平成30年まで  
のデータがありますが、平成12年が2.1、次が2.2、1.3、1.2、高いものから平成  
22、23年のころは0.9となりまして、直近で29年度が0.6で、また30年度が1.0  
と、年度によって上下する傾向が見えてきます。このようなことでしょうか。

・吉井委員

平成30年度で鳩川のBODが急激に上がっています。この原因をつかんでいたら教えて欲しい  
です。さらに、BODのグラフパターンが、上流域、中流域、下流域と非常に似ています。そ  
の傾向と原因は何かつかんでいますか。

・田中会長

説明いただきましたが、川は流れてきますので、毎年大体同じ水準の傾向があると理解してい  
ます。たとえば、平成29年は上流も下流も低いです。つまり、ほぼ同じ水が流れてくるので、  
そういうことになるのだと思います。それと、平成29年に水質が際立って低くなっています。  
過去、20年間くらいの中で最小の値ですので、この原因を究めても良いと思います。

・事務局

鳩川のBODを年6回採水しています。通常、0.6とか0.7とか低いですが、5月の採水  
時だけBODが下流で3.4という数字が出ています。理由はわかりませんが、都市型河川です  
ので、一般的に家庭排水ですとBODが高くなると思います。

・田中会長

それで平成30年度のデータが1.2くらいになったということですね。この数値がなければ  
0.6だとか0.7だったということですか。平成29年のデータは、こういう異常なデータが  
なかったという説明ですか。

・事務局

そうです。他の月よりも高いものが30年度の5月には出ているというのが現状です。

・吉井委員

事務局がおっしゃったように、BODの測定は非常に難しいです。一日の間でも、月ごとでも、  
気候によっても変化します。そのほかに地区によってBODが上がる要因があります。私が一般  
市民としてこのデータを見た時に、「0.7から1.2にまで上がっているではないか。」と思

う場合もあると思います。測定者は、専門知識を持って測定していますが、見る側は素人です。だから、原因を掴んで、「実はこういうことですよ」という記載があれば、一般市民として非常に見やすいのではないかと思います。

・藤倉委員

平成12年度からの長い経年変化で、目久尻川などの水質が下がっているのは、公共下水道の効果といえるのではないかと思います。鳩川がどのくらいの流域で、かつ上流にどのくらい他市が関与しているのかがわかりませんが、「公共下水道の普及率とともに、水質が改善しています」と書いてしまうと、平成24年からの7年間についての説明に見えてしまうので、丁寧に説明をした方が良いと思います。たとえば、「過去20年を見れば、公共下水道の普及率の上昇とともに」など、説明を入れたほうが良いというのが一つ。それから、吉井委員の指摘の件は、平成30年度のデータを見ると、5月のデータが非常に高いという指摘がありましたが、鳩川の下流の、平成30年5月24日という欄を見ていくと、外観が濁水です。色も灰黄色、おそらく、この日は晴れですが、その前はかなり降雨があったような日ではないかと思われれます。BODも3.4で環境基準を超えています。SSも環境基準を超えてはいませんが、かなり高いです。濁った水の 때가、BODやSSが高い傾向に当然あります。水質というのは、きれいな日ばかりではなく、濁った日も含めて年間平均とするので、「降雨の後には、BODやSSが高いことが見られた」などと説明しておけば、環境基準を超えた日がある理由の説明がもっとわかりやすくなる気がしました。あと、大腸菌の値がこんなに高いのかと思いました。

・田中会長

測定項目の大腸菌が、糞便性大腸菌ではなくて、別のものを測っているのではないかという見解があるようです。国でも、大腸菌指標の在り方を再検討するというような動きがあるようです。

・小池副会長

鳩川の今の上流、中流、というのは、どの辺のことを言っていますか。

・事務局

資料編に図がございます。

・田中会長

鳩川はちょうど市境ですね。上流は相模原ですか。

・事務局

そうです。

- ・ 田中会長

この地点名というのは、単に上流、中流、下流と呼んでいるのですか。

- ・ 事務局

資料編に調査地点名が入っております。

- ・ 藤倉委員

本編に、測定地点の地図を簡単に入れたほうが良いのではないですか。

- ・ 田中会長

たしかに地点が入っていたほうが、市民の皆さんには、どの地点でとっているデータかというのがわかると思います。

河川水質測定事業の、主な施策の実施状況の文章で「市内2河川水質調査として、鳩川、目久尻川の各上流、中流、下流の6地点において」とありますが、鳩川で3地点、目久尻川で3地点の合計6地点ということですか。さらに、「生活環境の保全に関する項目を年6回」、「両河川の下流2地点において、人の健康の保護に関する項目を2回測定」とありますが、生活環境項目は、下流の地点だけで年に2回測定ということがわかるように書いてください。

- ・ 西委員

今のところですが、目久尻川の下流だと私が想像するには寒川町の方を想像していました。やはり地点名を示したほうが市民にはわかりやすいと思います。

- ・ 事務局

環境政策課環境保全係に相談します。

- ・ 田中会長

他にいかがですか。

- ・ 藤倉委員

ごみの話ですが、他市でも、紙ごみが減る、ペットボトルが軽くなる、瓶や缶もあまりごみに出さないなど、資源になるものが減っているので、ゴミの量も減るけれども、リサイクル率も下がるという現象が全国的に起こっている。これは計画を見直す時に、この指標は考え直したほうが良いと意見として申し上げます。

次に質問ですが、不法投棄のパトロールの実施状況で、4回が3回になっていますが、進捗度がBです。値が1割以上減っているので、Cではなく、なぜBなのか。

・事務局

Bと判断してしまいましたが、1割以上下がっていますので、評価は見直させていただきます。

・田中会長

資源物の回収を指標にしているところがありますが、資源物の収集量を指標にするということは、あまり適切ではないのではないかとということでした。社会全体が物を使わない、データで見ていくという社会に変わっているのです、ごみがそもそも出ない、資源に変わるものも出ないということです。リサイクル率も横ばいになっています。資源として回収される量も減っていて、結果として横ばいになっているものと思われます。リサイクル率という指標がいいのかどうかということも、考えていかなければならないと思います。

それから、一人当たりの家庭ごみですが、目標が669グラムで、これは非常に高いと思います。今は619グラムですので、見直しの時に、実態に合わせて目標を変える必要があります。

・藤倉委員

会長が指摘の一人一日当たりの家庭ごみの排出量は669グラムで、目標を達成しましたとありますが、「引き続き目標を達成した」、「引き続き目標を達成した上で、さらに前年度より下がりました」など、記載表現を工夫してください。

・日浅委員

前回の審議会で、たばこのポイ捨ての本数など調査されたと発表されて、委員の間でもいろいろ討議されたと思いますが、実際の数値を出されていません。数字も載せて、結果を出された方が良いのではないですか。

・事務局

言われたとおり、やり方を議論した結果、調査方法をまだ決めかねている状況だったので、人数を控えさせていただきました。掲載が適当であるか内部で検討させていただきます。

・日浅委員

完全なものを出すというのはなかなか難しいとは思いますが、実数を入れたほうが、具体的なアピールにはなるかと思います。

・事務局

わかりました。検討させていただきます。

・田中会長

それでは地球環境と環境学習のところまで、お願いしたいと思います。

・藤倉委員

普通の市町村別の電力使用量が公表されなくなって、横浜市でもデータが更新できずにいる状態にあります。おそらく、環境省や経産省に対して、市町村別の二酸化炭素排出量が計算できるように、自治体から声が上がっているとは思いますが、座間市としても、県を通じて国に伝えてもらうよう、これに対する意見を上げておいてもらった方が良いでしょう。

もう一つは、電気自動車の助成の購入事業を終了するというのですが、終了したら、指標はどうするのですか。

・事務局

検討中ですが、一つとして、座間市の地下2階に設置している急速充電器の使用の状況を考えております。それが指標になるのかということは、議論していただくことになるかとは思いますが。

・藤倉委員

現在の指標はどうなるのですか。

・事務局

終了ということになります。

・田中会長

事業終了したが、過去のデータだけは載せておくということで、計画を見直す時に、指標を入れ替えて、廃止又は削除するということが良いのではないですか。

・事務局

はい。

・田中会長

市町村別のデータを把握する基礎データとして、電力使用量、電力データを市町村単位で取れないことを市町村から、環境省、経産省に要望を出すことは大事なことです。ぜひ、要望をするべきだと思います。

・西委員

環境省が提唱しているCOOL CHOICE運動を始めると、環境省から1千万円の予算が下りるらしいです。座間市でも可能であれば、手を挙げて参加すると、市民への啓発活動がすごくやりやすいと思います。一度調べて参加していただきたいです。

・事務局

COOL CHOICEには賛同させてもらいました。ただ、補助金を活用できるイベントができるか、検討する必要があると思います。

・西委員

市民への啓発は確実に増えると思いますので、ぜひ前向きに御検討いただければと思います。

・田中会長

審議会からの提言に入れたらどうでしょうか。市民へ、基礎自治体としてできることの一番有力なのは市民啓発の取組です。温暖化の問題、これからますます激しくなってくる気候変動の問題の根本を絶っていくというのは、やはり温室効果ガスを出さない暮らしです。

・小池副会長

地球環境の分野で今、エネルギーの電気と電気自動車、両方とも無くなるのですか。世の中で地球環境のことが問題になっています。今回の一連の災害も地球環境からきています。その辺が重要なのに、どうして地球環境の項目がなくなるのでしょうか。

・事務局

引き続きスマートハウス関連設備で、太陽光発電、蓄電池、エネファーム等に補助金を出していきます。電気自動車は事業終了しますが、スマートハウス関連設備への施策は続けていきたいと思っています。

・小池副会長

太陽光発電もあまり増えていないのではないのでしょうか。

・事務局

昨年度から、蓄電池などの申請が増えてきています。

・田中会長

最後の方に、取組の全体像ということでまとめがありまして、全体的に見ると、概ね横ばいから、やや良くなったというところでしょうか。この報告書に、審議会からの提言として、本日皆さんから出された非常に多岐にわたる意見、記載のあり方、具体的な今後の施策についての指摘を取り入れたかたちで、約1ページの提言をまとめます。事務局から説明がありましたように、別紙で、さらに追加、強調したい御意見等ございましたら、お出しをいただきたいと思います。最終的には事務局と私で案を調整させていただいて、皆さんに見ていただいた提言案を最終的なかたちにしたいと思います。

年次報告書の本体も、庁内の調整が必要ですので、多少修正される可能性があるとのことですが、おおよそこのかたちで年次報告書がまとまることにしたいと思います。できれば、年内位に提言を出すようにいたします。

・事務局

御意見ありがとうございました。今年は審議会を3回予定していきまして、2月頃に開催予定です。審議内容としましては、地球温暖化防止実行計画が新たに策定されますので、計画の内容の説明と報告をさせていただきたいと思います。また、予算の策定の関係で、電気自動車の購入助成と住宅用給電システム、電気自動車の急速充電器への助成が終了していますので、令和元年度に続き、令和2年度も、スマートハウスの関連設備設置補助金のみの予算計上となることを報告させていただきます。

それでは、審議会はこれにて終了させていただきます。お疲れ様でした。